

第12次沼田市教育水準向上研究〈第3年次〉

沼田市の教育

～ 学校教育編 ～

第49集

2022

(令和4年度)

沼田市教育委員会

沼田市下之町888番地 (TEL 0278-23-2111)

沼 田 市 の 教 育

第 4 9 集

序	沼田市教育委員会教育長 竹之内 篤	
第1編	研究の基礎	
第1章	第12次沼田市教育水準向上研究<第3年次>推進計画	1
第2章	研究経過の概要	5
第2編	全市的共同研究	
第1章	教育水準向上研究授業研究会	9
第2章	沼田市夏季研修会	14
第3章	沼田市小中学校教育研究会	16
第4章	沼田市独自施策・指定研究の展開	43
第3編	学校別研究	49
第4編	成果と課題	
第1章	沼田市教育行政方針評価(学校教育)	137
第2章	第12次教育水準向上研究<第3年次>の成果と課題	142
	令和4年度の研究指定等	143
	編集後記	143

2022

沼 田 市 教 育 委 員 会

序

沼田市教育委員会
教育長 竹之内 篤

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中での令和4年度となりました。各学校園では、感染症対策を徹底、継続しながら、子どもたちや学校にとって真に必要なものは何か、不変の価値と変化の必要性を常に問い直しながら、様々な工夫や取組を進めていく状況が続いています。

このような中、「社会の変化に主体的に関わり、未来社会を切り拓く力を身に付けた子どもの育成」を主題に掲げた第12次沼田市教育水準向上研究では、第3年次として、第2年次までの成果と課題を踏まえた実践の積み上げを行いました。各学校園では、校長・園長がリーダーシップを発揮して明確な経営方針を具体的に示し、各主任が中心となった組織的な取組を進めることにより、学校全体で共通理解を図りながら、趣旨に基づいた教育活動を展開しました。

沼田市教育委員会としては、先に掲げた目指す子ども像の具現化を目指し、「沼田市・先生の日」「沼田市夏季研修会」「教育水準向上研究授業研究会」「幼保こ小関連教育推進事業研究協議会」等の事業を、感染症拡大防止に配慮した形で展開しました。「沼田市・先生の日」では、オンライン配信により会場と各校を結び、沼田市教育行政方針等を全教職員で共通理解する機会とすることができました。「沼田市夏季研修会」では、主に中学校の教員を対象とした「ICT活用研修」をオンラインで実施し、学習支援ソフトの機能を生かした授業改善を図る機会とすることができました。また、「教育水準向上研究授業研究会」は、沼田東小学校、白沢中学校、多那中学校の3校を会場に、規模を縮小した形で開催しました。各学校は、教科の特性を踏まえてICTを効果的に活用し、沼田市教育行政方針の重点事項を具現化した授業を公開しました。「幼保こ小関連教育推進事業研究協議会」では、ちぐさこども園を会場に、学びの連続性を踏まえた幼小連携の充実に向けた協議、情報交換をすることができました。そして、沼田市教育研究所では、学習の基盤となる言語能力の育成を視点に、小学校班では、交流場面での表現と思考を促す工夫を通して、より確かな自分の考えをもつことができる児童の育成に向けて、また、中学校班では、目標と思考を可視化して思考の変化を捉えることを通して、自らの考えを再構築することができる生徒の育成に向けて、実践的な研究を積み重ねました。

こうした一つ一つの事業やそれぞれの学校園での取組に対して、積極的に関わる教師の姿勢が互いの資質を高め合い、授業や指導の改善、そして、子どもたちの変容へとつながりました。今後も、家庭・地域社会と連携しながら、各学校園と沼田市教育委員会が一丸となり、創造（Creation）、協働（Collaboration）、意思疎通（Communication）の基本姿勢を大切にしながら、共に育て、共に育つ「共育活動の充実」を図り、社会の変化に主体的に関わり、未来社会を切り開く力を身に付け、たくましく成長していく沼田市の子どもたちを支えていきたいと思えます。

結びに、この研究、実践に対してご指導いただきました利根教育事務所をはじめとする群馬県教育委員会等の関係各位に改めて厚く御礼申し上げ、「沼田市の教育」の序といたします。